

2022年2月1日

当院で脳動脈瘤および脳梗塞の治療を受けられた患者さん・ご家族様へ
研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究「未破裂脳動脈瘤の診断モデル確立のための研究」を実施しております。この研究は、倫理委員会の承認のもと、通常の診療で得られた記録のみを解析するものです。今回の研究では、脳動脈 MRI を施行した患者さんの画像所見に対して、人工知能による人間の脳に近い学習技術（深層学習）を用いた画像認識技術を使って研究を行います。脳動脈瘤の人工知能による診断方法を確立することを目的としています。人工知能の利用に必要なデータ加工についての専門的知識を必要とするため、これらの専門的知識と経験を有する株式会社フィリップス・ジャパンと当センターとの間で共同研究契約を締結した上で実施します。研究のために、新たな検査などは行いません。

この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】

2010年1月～2021年12月の間に、当院で未破裂脳動脈瘤に対する治療を行った方、外来で検査を受けた方（約800例）

2010年1月～2021年12月に脳梗塞に対する治療を行なった方（約1000例）

【研究責任者】 西村 邦宏 予防医学・疫学情報部 部長

【研究の目的】

専門医および手術所見による従来の脳動脈瘤の評価と、人工知能による脳動脈瘤の評価を比較し、一致するかどうかを検討いたします。

本研究により、脳動脈瘤を自動診断する方法が確立され、将来脳動脈瘤の診断率が向上することが期待されます。

研究に際し、脳梗塞の患者様の情報を用いて動脈瘤のない脳血管を人工知能に学習させ、診断率の向上を計ります。

【利用するカルテ情報・資料】

性、年齢、体重、身長、喫煙状況、併存疾患（高血圧、糖尿病、脂質異常症、慢性腎臓病）、腎機能（血清クレアチニン値）、脳 MRI 画像、脳血管 3DCT 画像、脳血管造影画像、開頭クリッピング時の手術記録と術中所見、血管内治療時の手術記録と術中所見、使用したコイルの種類と量

【外部機関への研究データの提供】 あり

（提供する情報：お名前、住所などの個人を特定する情報を除いた脳画像）

提供先機関の名称：株式会社フィリップス・ジャパンおよび Philips India Ltd

責任者：株式会社フィリップス・ジャパン Solution CoE Leader 相澤仁

Philips India Ltd Fellow Architect Vijayananda J

【研究期間】倫理委員会承認日より 2024 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【二次利用について】

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。

二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター

予防医学・疫学情報部 部長 西村邦宏

電話 06-6170-1070(代表) 内線 (31192)